

整理番号: sanriku-1

作成日: 2021年2月26日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : タンカル
会社名 : 全国農業協同組合連合会
担当部署 : 耕種資材部
住所 : 〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 J Aビル 33F
電話 : 03-6271-8285
FAX : 03-5218-2536
電子メールアドレス : zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡先電話番号 : 03-6271-8285

使用上の制限 : 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないで下さい。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性／引火性ガス	分類対象外
可燃性／引火性エアゾール	分類対象外
支燃性／酸化性ガス類	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	区分外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：気体）	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	分類できない

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分1A
標的臓器／全身毒性（単回暴露）	区分2（呼吸器系）
標的臓器／全身毒性（反復暴露）	区分2（呼吸器系、腎臓）
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性	
水生環境有害性（急性）	分類できない
水生環境有害性（慢性）	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- H350：発がんのおそれ
- H371：臓器(呼吸器系)の障害のおそれ
- H373：長期にわたる、または反復暴露により臓器(呼吸器系、腎臓)損傷のおそれ

注意書き

(予防策)

P260：粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(対応)

P281：指定された個人用保護具を使用すること。
P308+ P313：暴露または暴露の懸念がある場合
医師の診断/手当を受けること。

(保管)

P314：気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。
P405：施錠して保管すること。

(破棄)

P501：内容物/容器を国・地域のすべての法規に
に従い破棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別

単一製品（鉱物）

化学名（又は一般名）

炭酸カルシウム (Calcium carbonate)

別名

炭カル、重質炭酸カルシウム、石灰石
Lime, line stone, Calcite Aragonite

化学物質名	含有量	官報公示整理番号	CAS No.
炭酸カルシウム CaCO ₃	93%以上	(1) -122	471-34-1
石英（結晶） SiO ₂	3%以下	(1) -548	14808-60-7

4. 応急措置

眼に入った場合	: 眼球を傷つける恐れがあるので、きれいな水で十分に洗浄し、直ちに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: きれいな水で十分に洗い流す。洗浄後も痛みがある時には、医師の診断を受ける。
吸入した場合	: 新鮮な空気のところへ移し、安静に努める。
飲み込んだ場合	: 多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせる。直ちに医師診断を受ける

5. 火災時の措置

消火剤	不燃物質であり、この製品自体は燃焼しない。 一般的な消火剤が使用可。 周辺火災の場合は、周辺火災に適した消火剤を使用する。
特定の消火方法	一般的な火災時の消火方法による。 周辺火災の場合で、可能な場合は容器を安全な場所に移す。 移動可能な場合は、容器に注水して冷却する。 注水は飛散防止に配慮する。

6. 漏出時の措置

人体への注意事項	防塵マスク、防塵眼鏡、ゴム手袋等の保護具を着用する。
環境に対する注意事項	飛散拡大の防止を図る。河川等に流入しないように注意する。 作業場が、排出系から外部に流出させないように回収よって覆う。 廃棄の場合は産業廃棄物扱いとする。
除去方法	粉じんが発生しないようにブラシや掃除機で掃き取り 空容器に回収する。
二次災害の防止策	風雨等による再飛散のおそれのある場合はシート等によつて覆う。 廃棄の場合は産業廃棄物扱いとする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	粉塵を立てないような容器、輸送手段を用いることが望ましい。 保護具(防塵メガネ、防塵マスク、保護手袋、保護衣)着用する。 取り扱いは換気の良い場所で行い、必要な場合は局所排気を行う。 破袋防止のため製品を投積みしないこと。 吸湿させないようにパレットの上に置く等の措置をとる。 取扱後は、皮膚・顔面等の露出部分を石鹼でよく洗う。 作業服はよく洗濯をする。
注意事項	
保管	
適切な保管条件	高温多湿を避けて屋内保管庫に保管する。 容器は直射日光を避け、冷暗所に密閉して貯蔵する。 バラ出荷の場合は水密タンク・サイロに貯蔵する。
安全な容器包装材料	できるだけ透湿性のない材質。 例) ガラス・プラスチック容器、浸透性のない紙袋、フレキシブルコンテナ、スチール製ドラム缶等。

8. 暴露防止措置

管理濃度

労働安全衛生法・作業環境評価基準：2005年4月1日施工

別表 物の種類(土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉塵)を摘要する。

管理濃度 E (mg/m³)は、有利ケイ酸含有率 Q = 3 %の粉塵として

$$E = 3.0 / (0.59 \times Q + 1) 1.08 \text{ mg/m}^3$$

許容濃度(勧告値)

日本産業衛生学会	第2種類粉塵	2006年
	吸入性粉塵	: 1 mg/m ³
	総粉塵	: 4 mg/m ³
ACGIH (米国産業衛生専門家会議)		2006年度版
石灰石* T V L	吸入性粉塵	: 5 mg/m ³ (TWA時間荷重平均濃度)
	*アスベストを含まない、結晶シリカ1%未満の微粒子の場合	
	吸入性粉塵	: 0.025 mg/m ³ TWA

設備対策 : 屋内作業場の場合は粉じん発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸用	: 防塵マスクを着用する。
防護眼鏡	: 着用する。
防護手袋	: 着用する。
防護衣	: 着用する。

9. 物理的及び化学的性質

形状・色	: 灰色の微粉末
臭気	: 無臭
引火点	: 不燃性
発火点	: 不燃性
密度	: 2.6 ~ 2.7 g/m ³
溶解度	: 水に難溶
その他	: 酸により分解し、炭酸ガスを発生する。 高温下で分解し、炭酸ガス及び酸化カルシウムを生成する

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常取り扱い条件では安定である。
反応性	: 酸・アルミニウム・アンモニウム塩と反応する。
避けるべき条件	: 湿気、粉塵の拡散。

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口毒性 ラット LD50=6,450 mg/kg
皮膚刺激性	: 同 ラビット 500 mg/kg 24H 中程度
眼球刺激性	: 同 ラビット 750 µg/kg 24H
感作成	: データーなし
慢性毒性・長期毒性	: データーなし
がん原性	: データーなし
変異原性	: データーなし
催奇形性	: データーなし
生殖毒性	: データーなし
その他	: 多量に長期間吸引すると「じん肺」になる恐れがある。

12. 環境影響情報 : データーなし

13. 廃棄上の注意
一般不燃産業廃棄物として処理する。

14. 輸送上の注意
国際規制 : 粉塵のたたない方法で輸送する。
破損、損傷、容器からの漏れ、荷崩れ防止を確実に行う。
取り扱い及び保管上注意事項の記載による。

15. 主な適用法令
労働安全衛生法（粉じん障害予防規則）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律
じん肺法
海洋汚染防止法 有害液体物質（Z類）：（65）炭酸カルシウムラリー

16. その他の情報
記載事項は通常的な取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。
この情報は新しい知見に基づき、改定されることがあります。
記載内容のうち含有量、物理・化学的性質等の保証値ではありません。
危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・データー等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありません。

本SDSは下記、三陸石灰株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については下記にお問い合わせください。

会社名 : 三陸石灰株式会社
住所 : 岩手県紫波郡紫波町佐比内字館前 127
担当部門 : 営業部
電話番号 : 019-674-2010
緊急連絡電話番号 : 同上
FAX番号 : 019-674-2018